「私の好きな木」は“一本の大きな木”

坂東忠司[1)]・牧野茂樹[2)]

1) 京都教育大学　理学科　bando@kyokyo-u.ac.jp
2) 京都市立高野中学校　mackin@takano-j.int.kyo.ed.jp

キーワード:　私の好きな木、京都市中学校理科研究会、京都総合学習研究会
（受付け：2002 月 6 月 18 日）

「私の好きな木」は京都市立中学校の一部の教師が立ち上げ、理念や実践方法にも工夫を重ねながら､理科という教科の中で 13 年間にわたって実践してきた活動である。平成１３年度は京都市中学校理科研究会の主催によるサイエンスアプローチⅡ「私の好きな木」として実施された。同時にこれまでこの活動に携わってきた教師が中心となって“京都総合学習研究会”を発足させ、この「私の好きな木」の活動をサポートすることにした｡“京都総合学習研究会”は子どもたちの豊かな心を育むことをめざす小･中学校、高校、大学の教員等で組織される研究グループである｡実際の活動には、将来教師をめざす京都教育大学の学生たちが大きな力になったことも明記しておきたい。

「私の好きな木」は、自分の好きな 1 本の木を選び、年間を通して観察する活動である。平成 13 年度は全 6 回の日程で実施されたが、第 1～4 回はほぼ 2 カ月に一度の頻度で四季折々の木のようすをスケッチするとともに、気づいたことがらを書きとめる（図 1)。また、第 5 回は 4 枚のスケッチをベースに、木の気持ちや気づきのメモを一枚の画用紙にまとめる作業、そして、最終回の第 6 回は発表会である。

「私の好きな木」の特長の一つは自由な発想や活動が十分に保証されていることである。すなわち、どんな木を選んでも良いしどのように表現しても構わない。子どもたちが活動している間、指導者は一人一人を見て回る。子どもと同じ目線に立って、「なぜこの木を選んだの？」「どんなことに気づいた？」「もっと近づいてみようか？」「木の肌を触ってみて？」「木はどんなことを考えているのかなあ？」など、子どもの気づきや観察力、想像力を引き出すような声かけやアドバイスをすることに徹する。指導者は決して知識を与えることはしない。誤解を恐れずに言うと、たとえ事実と異なる見方や考え方あるいは記録をしていても、この活動の中では間違いではなくすべて正解なのである。むしろ正解とか不正解という考え方そのものがここには無いと言った方がいいのかも知れない。たとえ間違ったことを書いていても正すことはしない。指導者の立場として最も忍耐力の必要な瞬間である。いつか自分で気づく時を待つという姿勢である。知識をひけらかすがごとく、何でもすぐに正そうとしていた自分にハッと気づく思いがする｡場合によってはこのような指導法も必要であろう。5 年後、10 年後を見据えた指導法の一つと言えるのかも知れない。

当初は活動内容さえよく理解できていない状態での参加であったが､回を重ねるにつれてこの活動のすばらしさがジワジワと伝わってくるようになった。「私の好きな

木」の活動が子どもたちへの教育効果にとどまらず、府立植物園での活動をサポートした指導者にとってもたいへん有意義であったことも大きな収穫であったと感じる。特に、活動中やその前後に小・中・高・大・市教委の先生方および将来教員を志す大学生たちが、ある時は室内でテーブルを囲み、またあるときは芝生広場で車座になって、和やかな雰囲気の中で意見交換をするという場が準備されたことはきわめて有意義であった。

第 6 回目（最終回）の発表会も大盛会であった。とても絵が上手だった洛北中学の生徒やパソコンのプレゼンテーションソフトを巧みに使いこなして発表した高野中学の生徒たちをはじめとする総勢 19 名の、いずれも甲乙つけがたい個性あふれるすばらしい発表であった。保護者の方々や関連の諸先生方等のギャラリーも多く京都府立植物園 2 階の研修室は熱気にあふれていた。

この一年間を振り返ると、「私の好きな木」の活動そのものがまさに“一本の大きな木”であることを実感する。

平成 13 年 3 月、京都総合学習研究会は独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターの「子どもゆめ基金」の助成を受け、『私の好きな木　－ あなたも木と話してみませんか？』という冊子（図 2；A4 版、総 81 ページ）を作成した。この冊子には具体的な活動の方法をはじめ、絵本“しほちゃんの「私の好きな木」”、科目を越えたさまざまな先生方による「私の好きな木」の活動、長井三郎（作詞家）、坂庭省悟（シンガー・ソングライター）両氏の素晴らしいメッセージなどが紹介されている。また、巻末には本活動のテーマソングとして新しくレコーディングされた『一本の樹』の CD が添付されている。これは長井三郎、坂庭省悟および進藤了彦各氏のご厚意によるものである。本冊子はすでに京都市立の全小・中学校には配布済みであるが、近い内に京都府教委、全国の教育センターに配布される予定である。

平成 14 年度は京都市中学校理科研究会・京都市教育委員会の主催、京都府立植物園・京都総合学習研究会の共催で「私の好きな木」の活動が実施されている。参加者の声や本年度の活動に関する詳細は以下のホームページをご覧いただきたい。

http://www5d.biglobe.ne.jp/~sukinaki/index.html



図 1　活動風景



図 2　「私の好きな木」の冊子と添付 CD